

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

BYD×みらいラボ 探究学習推進コンソーシアム
(株式会社BYD、一般社団法人高校生みらいラボ)

【サービス名称】

オンラインとオフラインの両方を活用した、働くことへの関心が高まる職業体験・起業体験講座
(株式会社BYD)

なりたい自分を発見し実現する、伴走型探究学習推進プログラム(一般社団法人高校生みらいラボ)

【サービスの支援項目】

カテゴリー-I 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴

提携企業等と連携し、働くことへの関心が高まる職業体験・起業体験講座を提供

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

- ・「生徒の個別最適な自己探究」を出張授業やワークシートやオンラインプログラムにより実現
- ・大手メーカー企業や国際協力NPO、ITスタートアップなど、様々な提携法人で活躍する社員による、柔軟な授業企画立案が可能

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

- ・教員リソースを大きく必要とする「実社会とつながる体験学習」を学校のニーズに合わせて提供することで、教員の負担少なく探究学習の高度化を推進
- ・提携法人との繋がりが次年度以降にも残るアセットとなる

(3) サービスの活用場面：探究・総合的な学習の時間の授業設計および実施および振り返り時

(4) 1サービスあたりの標準販売価格：税抜9,000円/生徒※プログラムに必要な教材費も含まれます

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

働くことへの関心が高まる職業体験・起業体験講座の授業企画・準備・実施サポート

「①企業を知る」「②なり切る」「③企画する」「④発表する」「⑤振り返る」の5ステップで学びを深める授業企画・準備・実施サポート

（学校のニーズに合わせて、コーディネーターや伴走サポーターの支援体制）

1. サービスの概要、特徴

生徒の自分軸ややりたい姿を見つける自己探究プログラムを軸に、探究学習を伴走サポートします

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

- ・ 独自の自己探究メソッドにより、分断されやすい「自己・進路・社会探究」を一気通貫で接続し、深い学びを支援
- ・ プログラム提供に加え、オンライン・オフラインハイブリッドで「持続可能な環境構築」まで伴走し、学校現場の自走に向けて支援

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

- ・ 教員が行き届かなかった生徒の自分軸の発見やそれに基づいた社会探究・進路探究の実現による進路納得度の向上

(3) サービスの活用場面：探究・総合的な学習の時間の授業設計および実施および振り返り時

(4) 1サービスあたりの標準販売価格：税抜5,400円/生徒 ※プログラムに必要な教材費も含まれます

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

- (1) 生徒の自分軸ややりたい姿を見つける自己探究プログラムの授業企画～実施に向けたサポート
- (2) 自己～進路～職業・社会それぞれの探究学習への伴走サポート
- (3) 生徒と教員と連携した持続可能な探究学習環境づくりの推進サポート

教員のリソース不足、ひいては探究学習に生徒が主体的になれない課題に対して、自己探究～社会接続まで、教員だけでは難しい領域まで支援

児童生徒・教職員が抱える課題

- 教員の時間・経験・ネットワーク等のリソース不足
- 探究学習が「単なる調べ学習」に留まり、生徒の主体性を育む「自己探究」や「リアルな社会体験」が不足

サービスが果たす役割

- 「自己探究」から「社会接続」までの高度な学びの提供
 - 教員だけでは手が回らない「個の深掘り」や「実社会体験」を補完。負担を増やさず、生徒一人ひとりに個別最適な探究学習を実現支援
- 進路指導の効率化
 - 生徒のキャリア軸を可視化し、共有。生徒にとって安心感・納得感のある進路指導へとつなげる
- ノウハウ蓄積による「持続可能な学習環境」の構築
 - 学校と協働し、教員に指導ノウハウを定着させ、将来的に学校主体で回せる「自走可能な仕組み」に

■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

サービスの活用風景・授業の流れ

【学校の課題】

- ・「総合的な探究の時間」において、学校内リソースだけでは企業との繋がりをコーディネートできない
- ・企業とのネットワーク不足により、働くことへのイメージを具体化させるための授業デザインを行うことが難しい
- ・「自己探究」→「社会接続」までの一貫した授業ノウハウがない



【提供サービス】

探究学習をする上で、社会にはどのような企業や働き方があるのかを知り、体験するための講座をオンライン/オフライン両用で実施

- 社会接続サポート(自治体や企業とのコラボ建付け)
- 企業を絡めた職業体験・起業体験講座の実施
 ※例:三菱電機様と遠隔操作ロボット体験を通じて社会課題の解決案を考える、花王様とバブルサイエンス実験を通じて身近な課題解決に理科の知識が使われていることを体感
- になりたい自分を見つけるワークショップ⇔進路・社会接続



本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

| | | | |
|--------|---|----------|-----|
| 学校設置者数 | 8 | 学校等教育機関数 | 10校 |
|--------|---|----------|-----|

| | 学校設置者名 | 学校等教育機関名 | 所在地 | 学校種 | 学年 | 実施内容 |
|----|-----------|---------------|------|------|-----|----------------------------------|
| 1 | 学校法人大谷学園 | 横浜隼人高等学校 | 神奈川県 | 高等学校 | 1-3 | 自己探究～社会接続に向けた授業支援 (総合的な探究の時間) |
| 2 | 秋田県教育委員会 | 秋田県立新屋高等学校 | 秋田県 | 高等学校 | 1-3 | 同上 |
| 3 | 神奈川県教育委員会 | 神奈川県立小田原東高等学校 | 神奈川県 | 高等学校 | 1-3 | 同上 |
| 4 | 神奈川県教育委員会 | 神奈川県立秦野高等学校 | 神奈川県 | 高等学校 | 1-3 | 同上 |
| 5 | 学校法人江戸川学園 | 江戸川学園取手小学校 | 茨城県 | 小学校 | 1-6 | 同上 |
| 6 | 尾花沢市教育委員会 | 尾花沢市立常盤小学校 | 山形県 | 小学校 | 1-6 | 同上 |
| 7 | 学校法人 近畿大学 | 近畿大学附属豊岡中学校 | 兵庫県 | 中学校 | 1-3 | 同上 |
| 8 | 学校法人田中学園 | 水戸葵陵高等学校 | 茨城県 | 高等学校 | 1-3 | 同上 |
| 9 | 学校法人白百合学園 | 仙台白百合学園高等学校 | 宮城県 | 高等学校 | 1-3 | 同上 |
| 10 | 学校法人白百合学園 | 仙台白百合学園中学校 | 宮城県 | 中学校 | 1-3 | 同上 |

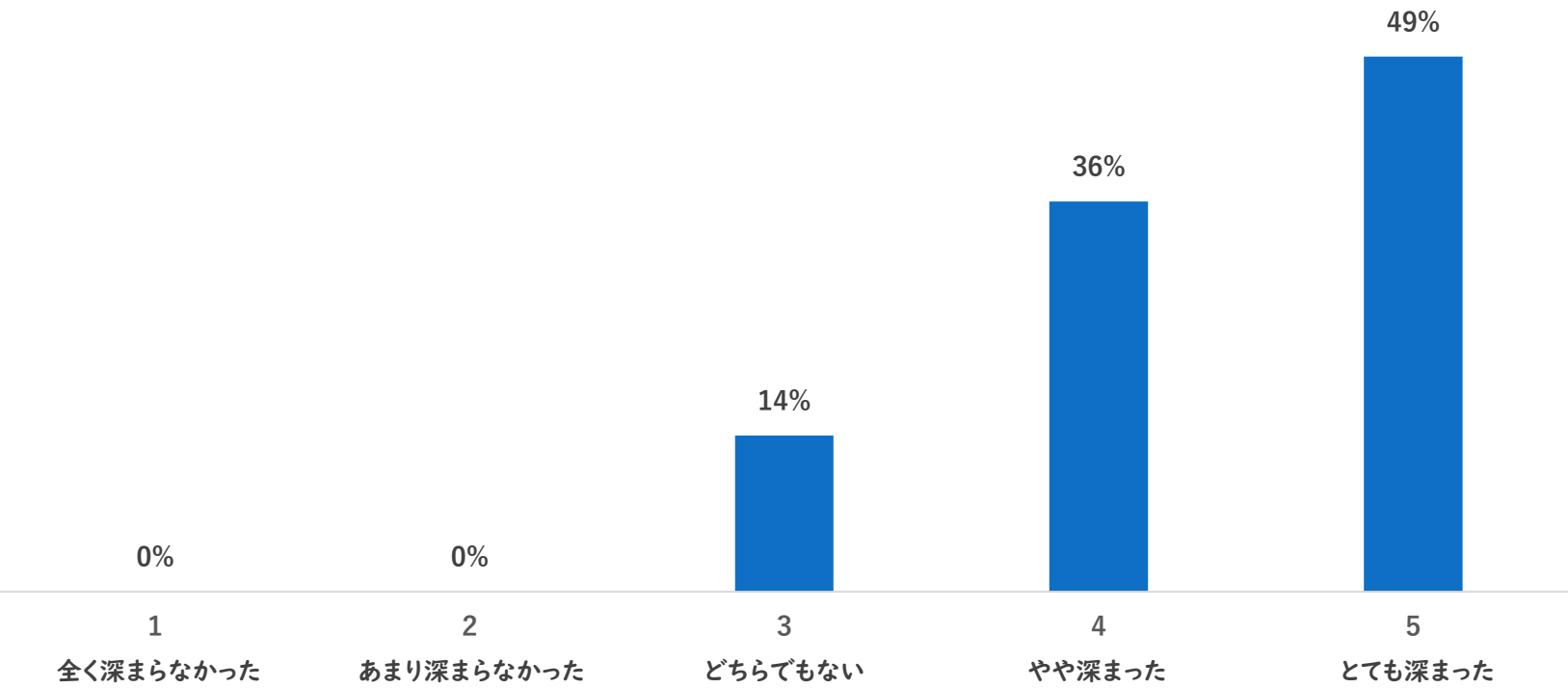
定量的効果検証

教員の負担軽減

企業との連携数増
平均+4社
 (最大+8社)
 ※継続した繋がりとして、
 持続可能な体制に寄与
 ※導入校の実績値

授業準備～実施工数
平均▲80%
 (月10時間→2時間)
 ※次年度以降に再利用可能な
 教材・マニュアルを作成
 ※導入校へのヒアリング結果

自己理解が深まったか?(n=97)※サービス導入学校の生徒向けアンケート



85%が深まった(5または4)と選択。なりたい自分を見つけるワークショップや、企業を絡めた職業体験を通して、向かいたい進路および自己理解が深まった

定性的効果検証

導入校の教員との振り返り・生徒向けアンケートを基に整理。

1. 仕事自体への理解に加え、職業観・キャリア観の醸成が促進

- 仕事内容の知識を得るだけでなく、やりがいといった価値観や、業務内容を実際に体験することで、実際の進路への示唆を得ることができた（生徒のコメントP9参照）

2. 自己理解～進路への接続

- 自己分析ワークショップと職業軸の体験が合わさり、進路指導に向けたインプットが精度高くまとまるようになった。また、進路実現意欲の向上も見られた
- また、次年度以降に再利用可能な教材・マニュアルを作成したことで、持続可能な推進体制構築に寄与

コンソーシアムを組むことによる相乗効果

【自己から社会まで一気通貫した探究の実現】

- 株式会社BYDが持つ50社以上の企業連携による「実社会」へのアプローチと、一般社団法人高校生みらいラボの強みである「自己・進路」への深い洞察を統合。
やりたいことと実社会との接続をリアリティを持って学べることで、納得感の高い進路選択を実現

【業務効率化と持続可能な体制構築】

- 学校ごとの個別最適なプログラム提供（BYDの知見）に加え、教員へのコーチング・伴走支援（みらいラボの知見）を組み合わせることで、現場の負担を最小限に抑制
- ノウハウを学校内に定着させ、無理なく高度な探究学習を継続できる実施体制を構築

<生徒の声>

- マーケティングや宣伝の方法などを教わり、非常に参考になった。
- 新しく商品開発するには、自分が好きなもの×友達の好きもの、や〇〇×〇〇を補うものなどのように、2つや3つ組み合わせるだけで全く新しいものを作ることが出来るということにびっくりしました。
- 違う視点で物事を考えることで複数の答えに辿り着くことが出来ると分かった。
- マーケティングに関する様々な知識やプレゼンに関する知識を得ることができたので将来に活かして行きたい。
- 商品開発も面白いなと思ったので進路の参考にしたいです。

ICT活用・マニュアル化による「業務効率化」と、研修を通じた「組織風土の醸成」を並行して推進。教員の負担を減らしながら、個別最適な生徒支援とノウハウが蓄積される持続可能な体制を構築

直面した課題

- 多くの協力者や企業と協働する上で、繰り返し同じ内容を説明している場面があり、余計な時間をかけてしまうことが多かった
- 質の高いアウトプットを生徒が作るために、ノウハウを教える時間と、気づきを得るために見守る時間のバランスに課題があった
- 成功事例やノウハウの蓄積を、先生間で共有し、実践していく仕組みが十分でないと、サービス提供による効果が限定的になってしまう

解決するための改善策

- 説明をマニュアル化したり、事前に読んできていただいたり、動画確認にすることで、実働する時間を削減する
- 生徒が各々のタイミングでアドバイスを得られ、質問ができるように、テクノロジーも活用し、個別最適なサポートができるような体制を構築する
- 必要に応じて、管理職向け研修や、全体向けワークショップなどの実施

| | |
|------|---|
| 社名 | 株式会社BYD |
| 代表 | 井上創太 |
| 設立年月 | 2015年1月 |
| 本社 | 東京都台東区浅草橋5-2-3 鈴和ビル2階 |
| 資本金等 | 500万円 |
| 売上高等 | 5,500万円 |
| 従業員数 | 25名(業務委託含む) |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生向けキャリア教育事業全般 ・教育事業のコンサルティング |

| | |
|------|---|
| 社名 | 一般社団法人高校生みらいラボ |
| 代表 | 喜多恒介 |
| 設立年月 | 2021年10月 |
| 本社 | 東京都目黒区東山2丁目6-14 NLDSVILLA101 |
| 資本金等 | 0円※非営利型社団法人のため |
| 売上高等 | 非公開 |
| 従業員数 | 30名※業務委託含む |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中高向け出張授業・ワークショップ事業 ・学校支援(教員研修等)事業 ・合宿事業 |

■お問い合わせ窓口

社名:株式会社BYD
 担当:井上創太
 電話:080-6564-9880
 Mail:byd.hr@b-y-d.co.jp

■お問い合わせ窓口

社名:一般社団法人高校生みらいラボ
 担当:小林拓真
 電話:090-1285-7773
 Mail:mirailab.info@hsmirailab.org